諫早市立北諫早小学校　学校だより NO．11

のびゆく北小っ子

R6．１０．８　文責　副校長　横田　和重

命を大切にし、思いやりのある北諫早っ子
きたいに応えます
いつも笑顔で挨拶します
さいごまで　あきらめません
ぼやね　早起き朝ごはんで生活します
やくそくを守ります
　　いのちを大切にします。
【北諫早小学校　こころの教育推進会議】

いよいよ10月！令和6年度も折り返し！！

９月終盤まで猛暑が続いていましたが、やっと爽やかな秋風が心地よくなってきました。ただ、急な気温の変化で、体調を崩すこともありますので、ご家庭でも健康管理には十分ご留意いただきますようお願いいたします。

さて、１０月に入り、令和６年度も残り６ヶ月となり折り返し地点を迎えました。今月は、宿泊体験学習（５年生）や、諫早市の小体連（６年生）等も予定されています。また、他の学年でも秋ならではの活動等も予定されており、充実した１０月になることと思います。

さらに学習面では、今までの学びをもとに、集中力を高めて向上させる時期を迎えます。子どもたちの学習への取組が一層深まるよう、教職員一同心を一つにして支えてまいります。

保護者の皆様におかれましては、本校の教育活動に今後もご理解いただき、ご協力くださいますようよろしくお願いいたします。

家庭での子育てについて

子どもたちは、日々成長をします。ご家庭においてもお子さんの成長を感じられることがあると思います。しかしながら、子育ては難しいものです。あの手この手を講じながら、お子さんと関わられているのが現状ではないでしょうか。

ふと「家庭教育手帳」というものがあったことを思い出しました。この「家庭教育手帳」は、文部科学省が「乳幼児編」「小学生（低学年～中学年）編」「小学生（高学年）～中学生編」という３種類を作成しました。

今回の学校だよりでは、「小学生（低学年～中学年）編」の「家庭でのルール」の中に書かれてある「家事を手伝わせたら、子どもがしっかりしてきた」を紹介します。

子どもたちの自己中心的な言動や自立の遅れの背景には、自己責任の考え方が身についていないことがあります。とかく親は子どもを甘やかしがちで「自分のことは自分でする」などのしつけがされないことが多いようです。

例えば、年齢に応じておこづかいの額やお手伝いなどの家庭内のルールを決め、子どもの成長に応じて責任と自立を促していくことが大事でしょう。「自分の欲しいものを自分のおこづかいで買う」経験は子どもたちにとってかけがえのないものです。

また、お手伝いは生きていく上で最低限必要な家事を学ぶ第一歩と言えるでしょう。買い物に行けるようになったり、家の中の整理整頓ができるようになったりすることで、自信にもつながります。（引用：家庭教育手帳より）

出典：子どもたちの未来をはぐくむ家庭教育ホームページ（https://katei.mext.go.jp）

いかがでしたか。お手伝い一つをとっても大事な学びにつながります。家庭教育手帳に興味がある方は、ホームページ（https://katei.mext.go.jp）を参照ください。